



特集 6 あなたが住む街からの情報発信への取組

(自治会活動等へのICTの利活用－1)

松本シニアネットクラブ（愛称ほっとねっと松本） (長野県松本市)

【概要】

松本シニアネットクラブは「助け合いながら学び、交流を楽しみながら実践する」の趣旨のもと、2003年、松本市が「松本市IT基本戦略」に基づき、高齢者IT支援の一環としてコーディネートして誕生した。行政が調整して開設された日本初のシニアネットである。平成21年度より活動拠点(市情報創造館)が行政運営から民営委託化されたことにより、クラブ運営は自主運営となった。

パソコンやインターネット、携帯電話等の利活用講習会の開催や会員同士の親睦を深める行事の企画や信州大学との交流、市民サポートセンターのIT利用支援等を通じて地域に貢献している。

沖縄や東京など異なる地域のシニアネット団体との遠隔交流や『あがたの森』(旧制松本高校)で市民団体の活動を発表する「ぼくらの学校」では、パソコンを活用した合成写真やとびだす絵本など、多彩なデジタル作品を展示し、シニアの新しい・楽しいデジタル文化を発信している。

会員は約150名で、松本市内を7つのブロックにわけ活動している。ブロックごとに自由に運営されており、地域をこえて参加できるブログや写真の同好会もある。

会費は入会金1000円。年会費3000円。事務所は事務局長の自宅。幹部は無給のボランティア団体である。

今年、10周年を機に、クラブのウェブサイトを一新した。無料HP作成サービス『Jimdo』を利用し、各ブロックのホームページとクラブのページとを相互にリンクして情報を共有した。ICTを活用した新しい老人クラブ・自治会組織として活動している。

【コラム】

「ほっとねっと」とは、学習や社会参加への「熱い(Hot)」思いと、会員の心のよりどころとなる「ほっと」できる会であってほしいという思いのこもった愛称である。

東京や仙台でも高齢者のパソコン講習会というと、『参加者が集まるだろうか?』と自治体の担当者から心配されたが、各地で定員の10倍以上の応募があった。松本市でも200名をこえる応募があり関係者を驚かせた。

パソコンやインターネットなど最新の技術や知識を知りたいという高齢者は年々増えているが、高齢者がパソコンを学べる場所は少なく、指導者も不足している。高齢者に信頼されている自治体の職員が最初の一歩を支援できれば、ICTは高齢者の学習意欲や潜在的な能力を引き出し、拡張することができる。外出の機会も増え、健康になる。

結果として会員の要介護期間は短く、健康寿命の長いことがわかった。

現在の松本市の最重要政策は「健康寿命延伸都市・松本」の創造である。元気で長生きしたい、介護とは無縁でいたいと誰よりも願っているのは高齢者自身だ。高齢者の社会参加を支援し、健康寿命を伸ばす『シニアネット』は超高齢社会の最良の処方箋のひとつである。

文責 老テク研究会事務局長 近藤則子

松本シニアネットクラブのウェブサイト <http://hotnet-m.jimdo.com/>

表紙



写真同好会 <http://syasinkurabu.jimdo.com/>



第1ブロック



第3ブロック



第7ブロック



親睦旅行



(問い合わせ先)

e-mail: seniorhotnet@gmail.com

住所:長野県松本市和田4010-27

TEL:0263-33-6621(中野事務局長宅)